

# 第26回子ども・青少年特集

9・10面

# わたしのビッグニュース 2015

明けましておめでとうございます。皆さん、希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。

今回の子ども・青少年特集は、「わたしのビッグニュース2015」をテーマに作文を募集しました。ここでは、応募のあった8件の作文を紹介します。すてきなエピソードをご応募いただきまして、ありがとうございました。

なお、作文は原則として原文のまま掲載しています。

**問合せ先** 広報秘書課広報係  
(☎042-387-9803)

## 「初めてのホームラン」

小学校4年生 森山 智也さん

今年一番うれしかったことは、初めてホームランを打ったことです。

ぼくは、1年生から野球をしており今年4年生ですが、今年の9月初めてホームランを打つことができました。ホームランを打ったときの気持ちは「自分でも打ったんだな。」とびびくりしました。ベンチへ行ったとき、仲間やコーチが、ハイタッチでむかえてくれました。お父さんは、「一本打ったね。」と言ってくれました。そのときうれしさがこみあげてきました。このときの気持ちは一生わすれないと思います。

ぼくがホームランを打ったのは、毎日家の前ですぶりを100本していたからです。すぶりをしているときは、ヒットやホームランのイメージでふっていました。いつも「がんばろう。」と思ってやっていました。

自分では、すぶりだけのおかげではなく、すぶりを教えてくれたコーチのおかげでもあると思いました。すぶりを教えてくれたコーチは、練習が終わった後コーチの家の前で、すぶりのふり方をいかに教えてくれました。

さらにお父さんは毎週土曜日学校の校庭でコーチとして、野球の練習につき合ってくれました。お父さんは、平日は朝から夜まで仕事をやっているのに、休みもなくてとても大変です。ぼくは、お父さんに「ありがとう。」と思いをこめて言いました。

来年はすぶりを続けて、二本打ちたいです。

## 家族とついでに見たイルミネーション

小学校3年生 山本 真愛さん

わたしは、昭和記念公園にイルミネーションを家族で見に行きました。

わたしは、はじめてイルミネーションを見ました。イルミネーションは、いろいろな形や色があつてもきれいでした。わたしは姉と光の迷路をしました。クイズに答えたら光るステイックを二本くれました。会場のおくに行くくと、いろいろな色のシャボン玉がありました。光の色によつて、シャボン玉の色が変わるので、とてもきれいでした。さらにおくに行くと、小高いおかがあり、家族で登りました。ちょう上について後ろをふりむくと、とてもきれいなけしきがあつていました。わたしは、とても感動しました。一つ一つの電球はとも小さいのに、たくさん集まるともよやくきれいな色どりになり、すてきなと思いました。冬なのでとても寒かったのですが、家族と一緒にきれいなイルミネーションを見て一緒に感動して、心があたたかくなりました。

## 「だのじかかったわたぼくだ」

小学校1年生 森山 優さん

ことし一ねんで一ばんだのじかかったことは、なつやすみに「わんぱくだん」にさんかしたことです。

「わんぱくだん」とは、くじらやまにいえをたてておとまりするところなんです。そのいえは、ちゅうがくせいりのリーダーさんと小がくせい十二にんでつくりました。ぼくは、一ねんせいなのでとんかちをしました。ぼくたちのはんは、二かいだてのいえをつくりました。にかいへいくはしごもつくりました。できあがつたとき「ぼくたちでつくりたいんだ。」とびびくりしました。おにいちゃん「すてきな」とはなしました。くつきがおもしろかったです。はやくとまりたいなとおもいました。

いよいよ、とまるひがきました。このひは、ゆうごはんにかーとフルーツポンチをつくりました。ごはんがふんわりやけて一ばんおいしくできました。

よるにキャンプファイヤーをしました。リーダーがファイヤードアンスをなげました。ファイヤーをくるくるまわして、ファイヤーをなげてキャッチしてひをおてだまみたいにしていたので、ドキドキしておもしろかったです。

とつろながしもしました。のがわに、きとかみとくきでつくったものをながしました。ながしたとき「あーまって、ぼくがつくったとつろろ。」とおもいました。

よるになって、二かいでねました。ねむりにくかったけど、ねむれました。らいねんもまたいきたいです。

## ついでに歩いたキャンプ

小学校2年生 越 美結さん

わたしは、九月に上高地からからさわまで歩き、テントで三ばく四日のキャンプをしました。

いっばい歩いてさか道では足がいたかったです。でも、つかれた後のソフトクリームはつめたくて、足がいたかったのをわすれるくらいおいしかったです。三こも食べました。

あと、からさわのこうようはともきれいでした。黄色と赤とオレンジとみどりでした。がんばってのぼったから見れました。

今回は、パパと二人きりで行ったので、ママをおもい出しました。夜は少しないちやいました。でも、パパのリュックには四日分の食べものとテントでねるとうぐをいれたので、おもかったと思います。パパがわたしのためにがんばってくれたのでのぼれました。わたしもがんばりました。

こんどは家ぞく四人で行きたいとおもいました。

## ついでにぎんこ来たねい

小学校6年生 宮坂 梓さん

去年、私はずっと「ねこが欲しい」と思っていました。いくらおねだりしても、親からは「ダメ」ときっぱりと断られてしまいました。何回おねだりしても、無駄だと分かること、あきらめかけてしまいましたが、ずっと祈っていたら、ついにねこがもらえると信じていたので祈り続けました。

一月、新しい年が来てから二カ月前くらいに、けれど私は、「ねこが欲しい」という希望はまだ変わっていません。なぜなら、ねこは走れるし、感情もよく分かるので一人っ子の私にとってねこは弟のような感じなので、一人で留守番をしている時間も空いているヒマな時でもいつでもねこと一緒に遊べるからです。そう思っているうちに、二月は中旬に入ってきました。そして次の朝、お母さんが昨夜見たふしぎな夢について語り始めました。語っていたお話によると、となりの家の犬が家に入ってきて、ビクビクしていたら、犬がとぜん可愛いねこに変わったというものでした。お話はこの夢から始まりました。なんと、二週間後、ペットショップに行った時にビッグニュースが起きたのです。お父さんが急に「このねこを飼う？」と言いだしたのです。私はうなずきました。何もかも信じられないくらいうれしかったです。今も、そのねこを大切にしています。

## 東京モーターショー2015

小学校5年生 山本 愛心さん

私は、10月に小学校の社会科見学で東京モーターショーに行きました。中にはたくさん未来の車が展示してありました。

その中で私が一番に残った車は、日産の自動で走る車です。最近高い車などのドライバーがアクセルとブレーキをふみまちがえて事故がおきたり、よそ見をしていたら歩行者とぶつかってしまったなどの交通事故がふえています。しかし、自動運転では、車が危険を見つけて自動で止まったり、ハンドルをアシストしてくれたりなどの運転技術が付いているので私は未来に交通事故などがなくなるのではないかと思います。自動運転になれば健康者だけではなく高齢者や障害者でも安心して運転でき行動範囲が広がります。

私は以前、授業で未来の自動車の開発というテーマでグループワークをしていました。今回モーターショーの見学に行き、人にやさしい未来の技術を目のあたりにしてわくわくしました。人にやさしい社会作りを私もしていきたいと思いました。